

2023年

おすすめの本 高学年

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが
のびるように、たくさんよんで、^{おお}こころを大きくするため。
ぼくのため。わたしのため。

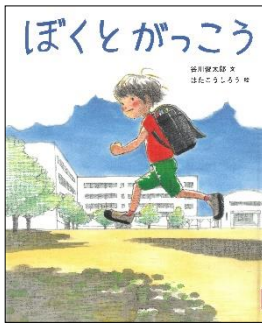


ぼくは川のように話す

ジョーダン・スコット/文 シドニー・スミス/絵 原田勝/訳 偕成社

ぼくには、うまくいえない音がある。クラスの発表でも、どもってしゃべることができなかった。そんなぼくを、おとうさんは川につれていってくれた。少年の心をすくった美しい川の光景と、おとうさんのことば。

E スミ

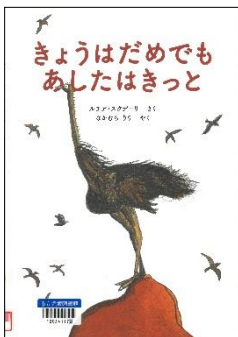


ぼくとがっこう

谷川俊太郎/文 はたこうしろう/絵 アリス館

学校へいきはじめたばかりのころは、「学校はうちじゃない」「先生はおかあさんじゃない」なじめないなかで、すこしずつ成長してきた。やがて学校とわかれる日がきて……おとなにちかづいていく「ぼく」の絵本。

E ハタ



きょうはだめでもあしたはきっと

ルチア・スクデーリ/作 なかむらりり/訳 春陽堂書店

砂漠にふうがわりな鳥がやってきた。「へんてこだね」「あれでも鳥なの？」鳥は、自分が飛べないことをかくしていたが……ほんとうのことをいったとき、「そうになると話はちがってくるよ」新しい世界がひろがった！

E スク



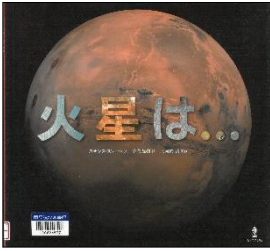
さいごのゆうれい

齊藤倫/著 西村ツチカ/画 福音館書店

小5の夏休み、ぼくは、いなかのおばあちゃんちにあずけられた。空港のあるその町で飛行機をながめてすごしていると、ちいさなゆうれいに出会った。自分がさいごのひとりだというゆうれいとすごした4日間の物語。

913 サ

火星は…



スザンヌ・スレード/文 千葉茂樹/訳 三河内岳/監修 あすなろ書房

知りたがり屋の地球人がつくれた、火星探査ロボットからおくられてきた、おどろくべき写真のかずかず。ごつごつ、ぶくぶく、しわしわ……地球のとなり
の赤い惑星「火星」の表情をとらえた写真の絵本。

445 入

レイチェル・カーソン物語



ステファニー・ロス・シソン/文・絵 おおつかのりこ/訳
上遠恵子/監修 西村書店

鳥がうたうのをやめ、自然が声を失いはじめたことに気づいたレイチェル。自然のなかではすべてがつながっている。レイチェルは『沈黙の春』を書いて、人びとの環境への意識を高め、社会全体の考えかたを変えました。

E シ

保護ねこ活動 ねこかつ！



高橋うらら/著 岩崎書店

「保護ねこカフェ」って知ってる？ 保護ねこ活動が必要なくなる日をめざして、ひととペットをめぐる問題に向きあう梅田さんの毎日を、保護されたねこの視点でえがくノンフィクション。

645 夕



ニ平方メートルの世界で

前田海音/文 はたこうしろう/絵 小学館

生まれたときから入退院をくりかえす少女。入院すると、おかあさんはいっしょにいてくれるけど、おにいちゃんが鍵っ子になる。そんなある日、病室で大発見をする。小学3年生が書いた「子どもノンフィクション文学賞」大賞受賞作品。

Eハタ

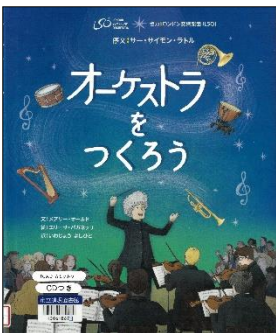


中野信子のこども脳科学

中野信子/著 フレーベル館

友だちとけんかしたとき、親におこられたとき、勉強や将来への不安……「イヤな気持ち」とどう向きあえばいい？ 「イヤな気持ち」をエネルギーに変えるには？ 自分の力でのりこえるためのアドバイスがいっぱい。

491+



オーケストラをつくろう

マアリー・オールド/文 エリーサ・パガネッリ/絵
いわじょうよしひと/訳 BL 出版

さまざまな楽器とたくさんの演奏者で構成されているオーケストラ。指揮者サイモンといっしょに、オーケストラの世界をのぞいてみましょう。楽器の特徴がわかる演奏を付属のCDで聴くことができます。

Eパガ